

VIII その他

(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 平成30年産水稻うるち玄米の平成30年11月30日現在の検査数量は、378万トン。
- 1等米比率は、81.2%。

① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,763
参考：前年比	72%	105%	88%	92%	95%	96%	96%	96%	96%	97%
30	21	297	1,446	3,328	3,782					
参考：前年比	159%	122%	99%	102%	98%					

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値（平成29年産は速報値）である。

② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29(注3)	4,763,162	3,919,188	676,945	74,244	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30(注4)	3,781,790	3,071,372	596,295	68,240	45,883	81.2	15.8	1.8	1.2

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 28年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。

3 29年産米については、平成30年10月31日現在（速報値）。

4 30年産米については、平成30年11月30日現在（速報値）。

(2) 平成30年産水陸稲の収穫量

(平成30年12月10日公表)

水稲の収穫量（主食用）は732 万7,000t

調査結果の概要

- 1 平成30年産水稲の作付面積（子実用）は147万haで、うち主食用作付面積は138万6,000haとなった。
- 2 全国の10 a 当たり収量は529kg（1.70mmのふるい目幅ベース。10 a 当たり
平年収量532kg。）となり、前年産に比べ5 kgの減少が見込まれる。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は778万 t で、うち主食用の収穫量は732
万7,000 t が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の10 a 当たり収量は511kg（10 a 当たり平年収量519kg）となり、作況指数は98となる見込み。
- 5 平成30年産陸稲の作付面積（子実用）は750haで、10 a 当たり収量は232kg
（10 a 当たり平均収量対比100%）となり、収穫量（子実用）は1,740 t と
なった。

平成30年産水稲の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量		収穫量（子実用）			参 考		
	実数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対差	実数 ③=①×②	前年産との比較 対差	対比	主食用 作付面積 ④	収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
		対差	対比								
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,470,000	5,000	100	529	△ 5	7,780,000	△ 42,000	99	1,386,000	7,327,000	98
北 海 道	104,000	100	100	495	△ 65	514,800	△ 67,000	88	98,900	489,600	90
東 北	379,100	4,300	101	564	0	2,137,000	22,000	101	345,500	1,947,000	99
北 陸	205,600	1,500	101	533	4	1,096,000	17,000	102	184,800	985,300	98
関東・東山	270,300	1,800	101	539	6	1,457,000	26,000	102	259,300	1,398,000	100
東 海	93,400	1,000	101	495	△ 3	462,400	2,300	100	91,000	450,600	98
近 畿	103,100	△	100	502	△ 8	517,500	△ 9,100	98	99,500	498,700	98
中 国	103,700	△ 600	99	519	△ 11	537,800	△ 14,600	97	101,100	524,200	101
四 国	49,300	△ 600	99	473	△ 13	233,400	△ 9,000	96	49,000	232,000	98
九 州	160,400	△ 2,700	98	512	2	821,300	△ 10,600	99	156,100	800,000	102
沖 縄	716	△ 11	98	308	7	2,210	20	101	716	2,210	100

注：1 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるいの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成25年産	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30(概数値)	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
平 均 値	100.0	0.8	1.4	1.9	2.7	14.9	78.3
対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	0.4	0.6	2.7	△ 4.0

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
平成25年産	10a 当たり収量	kg	539	535	528	517	503	425
	収穫量(子実用)	t	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10a 当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量(子実用)	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30 (概数値)	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量(子実用)	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
対前年比		%	99	99	99	99	99	97

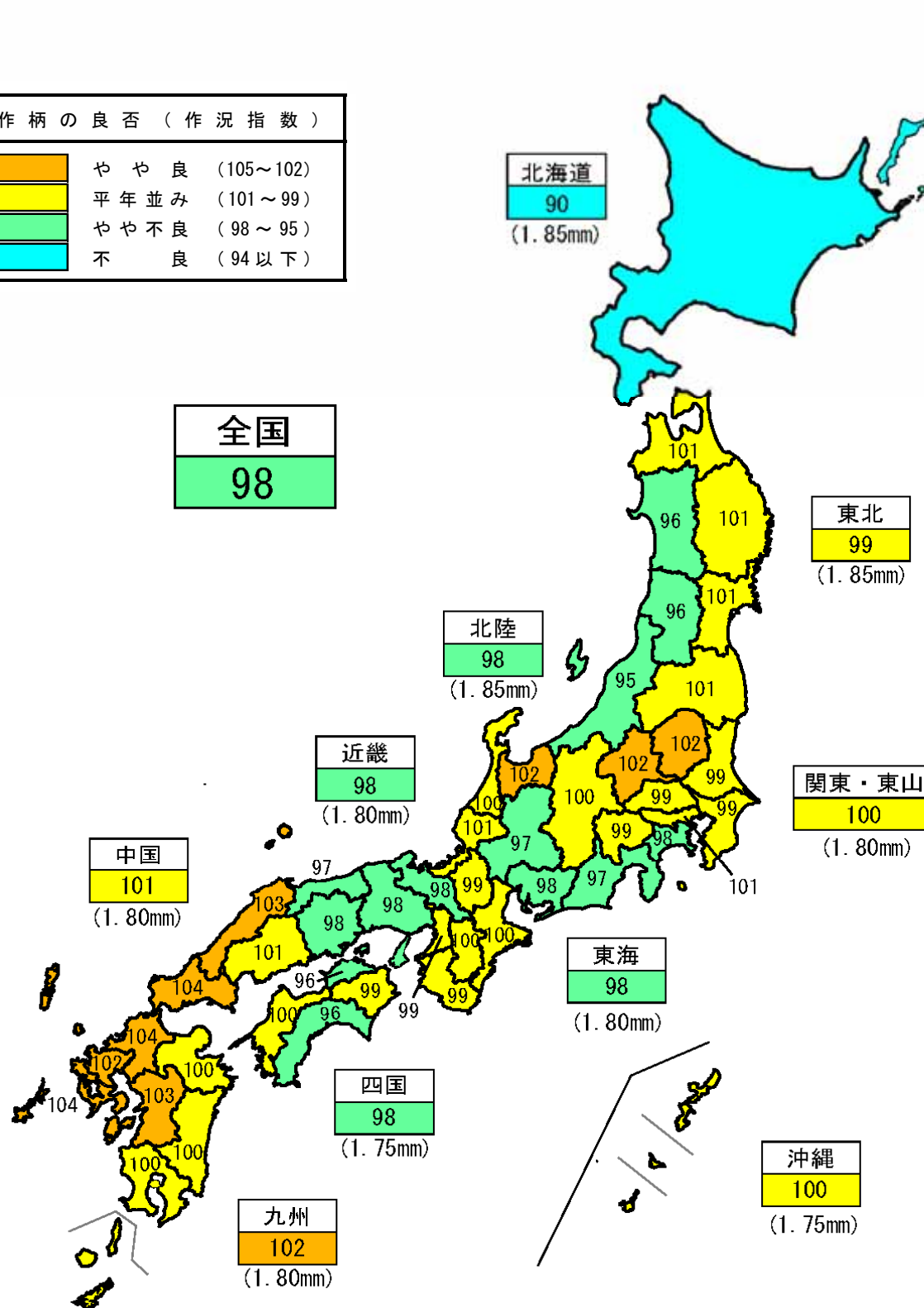
注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

「平成30年産水陸稲の収穫量」は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

全国農業地域・都道府県別作況指数 【農家等が使用しているふりい目幅ベース】

作柄の良否（作況指数）	
	やや良（105～102）
	平年並み（101～99）
	やや不良（98～95）
	不良（94以下）



注：1 作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふりい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85 mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80 mm、四国及び沖縄は1.75 mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

平成30年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都道府県			作付面積（子実用）			10 a 当たり 収 量 ②		（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別		
								10 a 当たり 収 量 ③		10 a 当たり 平年収量 ④
			実 数 ①	前年産との比較						
			ha	ha	%	kg	kg	kg		
全 国	(1)		1,470,000	5,000	100	529	511	519	98	
北 海 道	(2)		104,000	100	100	495	480	532	90	
青 森	(3)		44,200	800	102	596	577	573	101	
岩 手	(4)		50,300	500	101	543	526	522	101	
宮 城	(5)		67,400	1,100	102	551	527	520	101	
秋 田	(6)		87,700	800	101	560	533	554	96	
山 形	(7)		64,500	0	100	580	556	580	96	
福 島	(8)		64,900	900	101	561	535	528	101	
茨 城	(9)		68,400	300	100	524	508	515	99	
栃 木	(10)		58,500	900	102	550	537	528	102	
群 馬	(11)		15,600	100	101	506	489	479	102	
埼 玉	(12)		31,900	300	101	487	471	476	99	
千 葉	(13)		55,600	400	101	542	525	530	99	
東 京	(14)		133	△ 8	94	417	410	404	101	
神 奈 川	(15)		3,080	△ 10	100	492	470	479	98	
新 潟	(16)		118,200	1,900	102	531	500	527	95	
富 山	(17)		37,300	△ 300	99	552	535	527	102	
石 川	(18)		25,100	△ 200	99	519	507	506	100	
福 井	(19)		25,000	100	100	530	503	500	101	
山 梨	(20)		4,900	△ 60	99	542	526	533	99	
長 野	(21)		32,200	△ 100	100	618	607	607	100	
岐 阜	(22)		22,500	600	103	478	465	478	97	
静 岡	(23)		15,800	100	101	506	496	513	97	
愛 知	(24)		27,600	100	100	499	489	499	98	
三 重	(25)		27,500	100	100	499	489	489	100	
滋 賀	(26)		31,700	0	100	512	501	506	99	
京 都	(27)		14,500	△ 200	99	502	491	501	98	
大 阪	(28)		5,010	△ 140	97	494	475	480	99	
兵 庫	(29)		37,000	400	101	492	479	490	98	
奈 良	(30)		8,580	△ 30	100	514	499	500	100	
和 歌 山	(31)		6,430	△ 130	98	492	479	484	99	
鳥 取	(32)		12,800	200	102	498	488	504	97	
島 根	(33)		17,500	0	100	524	515	502	103	
岡 山	(34)		30,200	100	100	517	504	514	98	
広 島	(35)		23,400	△ 300	99	525	517	513	101	
山 口	(36)		19,800	△ 500	98	522	513	492	104	
徳 島	(37)		11,400	△ 100	99	470	466	469	99	
早期栽培	(38)		4,400	△ 50	99	466	463	459	101	
普通栽培	(39)		7,000	△ 80	99	474	470	475	99	
香 川	(40)		12,500	△ 300	98	479	470	491	96	
愛 媛	(41)		13,900	0	100	498	492	493	100	
高 知	(42)		11,500	△ 100	99	441	437	454	96	
早期栽培	(43)		6,470	△ 30	100	465	462	475	97	
普通栽培	(44)		5,000	△ 60	99	411	407	425	96	
福 岡	(45)		35,300	△ 400	99	518	497	478	104	
佐 賀	(46)		24,300	△ 300	99	532	514	503	102	
長 崎	(47)		11,500	△ 100	99	499	483	463	104	
熊 本	(48)		33,300	0	100	529	510	497	103	
大 分	(49)		20,700	△ 300	99	501	478	480	100	
宮 崎	(50)		16,100	△ 200	99	493	480	482	100	
早期栽培	(51)		6,410	△ 50	99	476	469	469	100	
普通栽培	(52)		9,670	△ 200	98	505	487	490	99	
鹿 児 島	(53)		19,200	△ 1,200	94	481	468	469	100	
早期栽培	(54)		4,340	△ 120	97	450	439	435	101	
普通栽培	(55)		14,800	△ 1,200	93	490	477	479	100	
沖 縄	(56)		716	△ 11	98	308	305	306	100	
第一期稲	(57)		527	△ 10	98	364	362	358	101	
第二期稲	(58)		189	△ 1	99	151	145	160	91	

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）				参 考		
実 数 ⑥＝①×②	前年産との比較			主 食 用 作付面積 ⑦	収 穫 量 （主食用） ⑧＝⑦×②	
	対差		対比			
t	t		%	ha	t	
7,780,000	△ 42,000		99	1,386,000	7,327,000	(1)
514,800	△ 67,000		88	98,900	489,600	(2)
263,400	4,700		102	39,600	236,000	(3)
273,100	7,700		103	48,800	265,000	(4)
371,400	16,700		105	64,500	355,400	(5)
491,100	△ 7,700		98	75,000	420,000	(6)
374,100	△ 11,600		97	56,400	327,100	(7)
364,100	12,700		104	61,200	343,300	(8)
358,400	900		100	66,800	350,000	(9)
321,800	28,000		110	54,700	300,900	(10)
78,900	1,600		102	13,700	69,300	(11)
155,400	△ 700		100	30,800	150,000	(12)
301,400	1,700		101	53,900	292,100	(13)
555	△ 25		96	133	555	(14)
15,200	△ 500		97	3,080	15,200	(15)
627,600	15,900		103	104,700	556,000	(16)
205,900	600		100	33,300	183,800	(17)
130,300	△ 1,000		99	23,200	120,400	(18)
132,500	1,800		101	23,600	125,100	(19)
26,600	△ 600		98	4,820	26,100	(20)
199,000	△ 4,200		98	31,300	193,400	(21)
107,600	700		101	21,500	102,800	(22)
79,900	△ 1,000		99	15,700	79,400	(23)
137,700	△ 3,100		98	26,700	133,200	(24)
137,200	5,700		104	27,100	135,200	(25)
162,300	△ 1,600		99	30,100	154,100	(26)
72,800	△ 2,200		97	13,900	69,800	(27)
24,700	△ 1,400		95	5,000	24,700	(28)
182,000	△ 1,400		99	35,500	174,700	(29)
44,100	△ 800		98	8,530	43,800	(30)
31,600	△ 1,700		95	6,430	31,600	(31)
63,700	△ 1,800		97	12,700	63,200	(32)
91,700	900		101	17,200	90,100	(33)
156,100	△ 7,600		95	29,400	152,000	(34)
122,900	△ 3,700		97	22,900	120,200	(35)
103,400	△ 2,400		98	18,900	98,700	(36)
53,600	△ 1,600		97	11,200	52,600	(37)
20,500	△ 900		96	...	...	(38)
33,200	△ 700		98	...	...	(39)
59,900	△ 2,100		97	12,500	59,900	(40)
69,200	△ 1,400		98	13,900	69,200	(41)
50,700	△ 3,900		93	11,400	50,300	(42)
30,100	△ 2,300		93	...	...	(43)
20,600	△ 1,400		94	...	...	(44)
182,900	1,200		101	34,900	180,800	(45)
129,300	△ 1,300		99	24,000	127,700	(46)
57,400	0		100	11,400	56,900	(47)
176,200	700		100	32,300	170,900	(48)
103,700	△ 2,600		98	20,600	103,200	(49)
79,400	△ 1,900		98	14,700	72,500	(50)
30,500	△ 1,400		96	...	...	(51)
48,800	△ 800		98	...	...	(52)
92,400	△ 6,700		93	18,300	88,000	(53)
19,500	△ 1,600		92	...	...	(54)
72,500	△ 5,900		92	...	...	(55)
2,210	20		101	716	2,210	(56)
1,920	20		101	...	...	(57)
285	△ 2		99	...	...	(58)

4 （参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a 当たり収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

(別冊)「資料編」の目次

Ⅰ 契約・在庫情報	
(1) 平成28・29年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成29年7月末から30年6月末) (速報)	1
(2) 産地別事前契約数量 (累計、うるち米、平成26～29年産)	9
(3) 平成28・29年産米の産地別契約・販売状況 (累計、うるち米)	11
Ⅱ 米の価格情報	
(1) 米の相対取引価格の推移 (通年平均価格)	25
(2) 業者間取引の状況	28
① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
③ (株) 加工用米取引センターの取引結果	
④ 米の現物市場の状況	
Ⅲ 主食用米以外 (輸出を含む)	
(1) 加工用米及び新規需要米等の生産状況	31
① 加工用米の生産量 (平成17～30年産)	
② 新規需要米の用途別作付・生産状況の推移 (平成20～30年産)	
③ 平成30年産 都道府県別の生産状況	
(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、	33
配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	
(3) 政府備蓄米の運営	34
備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23～30年産)	
(4) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移	35
(5) 2017年の主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	36
(6) 米菓の輸出数量及び金額の推移	37
(7) 日本酒 (清酒) の輸出数量及び金額の推移	38
Ⅳ 消費動向	
(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	39
(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	42
Ⅴ その他	
(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成30年12月分)	43
(2) 平成29年産水陸稲の収穫量	48
(3) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	51
(4) 水稲玄米のふり目幅別重量分布状況、	51
10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移 (全国)	
(5) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移	54
(6) 麦・大豆の需要情報	56
① 31年産麦の産地別銘柄別入札結果	
② 30年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(7) 野菜等の需給情報	62
(8) 米の安定取引研究会報告書の概要	66
(9) 各都道府県農業再生協議会等が作成した平成31年産主食用米の生産の目安等	67

○「米に関するマンスリーレポート」を更にご活用いただくため、読み解き方などを解説した特集ページ「米に関するマンスリーレポート解説特集「ここが分からない！マンレポ」」を開設しました！

http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中！ご登録お待ちしております！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

【消費拡大情報サイト 「やっぱりごはんでしょ！」を公開しました。】

新着情報	ごはん大盛り無料おかわり無料のお店	旅先グルメごはん	日本全国ごはんの恋人たち	わたしたち日本ごはん党	日本のおむすび全部金べた〜い	米粉の用途別レシピ動画	すくコム（赤ちゃん離乳食）	ごはんレシピ等	米粉メニュー等	ごはん健康	お米について学ぶ	お米は備蓄の柱です
------	-------------------	----------	--------------	-------------	----------------	-------------	---------------	---------	---------	-------	----------	-----------

やっぱりごはんでしょ！



掲載内容

○“ごはん食”に関する情報

- ごはんお替わり、大盛り無料のお店
農林水産省 × 食べログ



- 旅先グルメごはん
農林水産省 × ぐるなび



- 日本全国ごはんの恋人たち



○米の消費拡大に取り組む企業等の企画に関する情報



各企業等の消費拡大の取組やアイデアをご紹介します

掲載企業は絶賛募集中ですので、
HPから是非ご応募ください！

○業界団体等が取り組んでいる米の消費拡大に関する情報

ごはん健康

- お米と健康
- ごはんを中心とした日本型食生活のススメ
- ごはん彩々（全米販）
- 3・1・2弁当箱法
- 早寝早起き朝ごはん全国協議会

ごはんレシピ等

- 和食文化推進協議会
- コメレシピ
- 妊婦さんのためのレシピ紹介
- 農林水産省の公式キッチン（クックパッド）
- お米を使った料理・朝ごはんネット
- 6月30日は夏越ごはん

上記のほか、HPでは業界団体等によるイベント開催情報なども掲載しております

詳しくはこちらをアクセス！

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>

やっぱりごはんでしょ！ 検索



米の消費拡大情報サイト「やっぱりごはんでしょ！」へ最近掲載された情報

やっぱりごはんでしょ！



新着情報

- ・ジビエでごはん。「全国ジビエフェア(冬)」開催中！平成31年2月10日(日)まで
- ・1月22日はカレーの日。お米とカレー製品が当たるキャンペーン情報

企業における消費拡大への取組



- ・ **(大盛情報)** 半熟状態のとろりとした卵の親子丼が絶品の「鳥元」では、ランチメニューごはん大盛り無料
- ・ **(大盛情報)** とんかつ店「松のや・松乃家・チキン亭」では、ロースかつ&唐揚げ定食など「盛合せ定食」はライス大盛り無料
- ・ **(お替わり無料情報)** 「GOHANYA' GOHAN」では、土鍋で炊いた美味しいご飯が味わえて、お替わり自由
- ・ **(お替わり無料情報)** 「ごはん処 喜楽や」では、ごはん、みそ汁、サラダ、コーヒーがお替り無料
- ・ **(食育情報)** 大戸屋の「大人の食育セミナー」開催案内

特集情報

特集：カレーライス



1月22日を「カレーの日」に制定 1982年、社団法人全国学校栄養士協議会が、学校給食週間の前に、子供たちに好まれていたカレーを全国の学校給食メニューとして提供を呼びかけたことにちなんでいます。



カレー・オブ・ザ・イヤー2019開催のお知らせ



うわさのカレー食べ歩き(全国のカレー)



レトルトカレー博物館(全国のレトルトカレー)



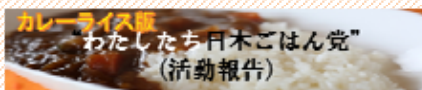
「艦メシ」艦艇や部隊のカレーレシピを紹介(海上自衛隊)

農林水産省
1月22日はカレーの日



米消費拡大情報サイト

やっぱりごはんでしょ！



(大盛情報) 懐かしい昭和の味を堪能できる「日乃屋カレー」では、ごはん大盛り無料

(注) 店舗によってはサービスを提供していない場合もありますのであらかじめご確認下さい。



(大盛情報) なにわ発祥のやみつ系辛口カレー「上等カレーなんばウォーク店」では、ごはん大盛り無料



(食育情報) お父さんは週1回でもいいから、お母さんのために自慢のカレーを作ろう！！
おとう飯カレー・プロジェクトの紹介

「お米の輸出動画」 配信中！

お米の新しい市場を開拓！ 「日本のお米の輸出」について

お米の輸出の可能性や農水省の輸出促進の取組について解説した動画を配信中！

「どうして今、お米を輸出するの？」「今、生産者や事業者の人はどんなことに取り組んでいるの？」という疑問にお答えします！



Youtube・農林水産省ホームページで公開中です！
(詳しくは裏面をご覧ください)

以下のQRコードからもご覧頂けます

1分ダイジェスト版はこちら→



<https://youtu.be/B1VsP2ER4OM>

本編(14分)はこちら→



https://youtu.be/zV8dkRH_6T0

本動画は、お米の輸出の概況や輸出拡大に向けた国の取組について解説します。

また、生産者や事業者の方に、海外向けのお米の生産・販売における具体的な取組内容をご紹介します！

本編の内容について1分程度でまとめたダイジェスト版も公開しておりますので、ぜひご覧下さい！

Youtubeから見る

Youtubeの検索バナーで「お米の輸出」と検索！

お米の輸出

×



(URLはこちら)

本編：https://www.youtube.com/watch?v=zV8dkRH_6TO

ダイジェスト版：<https://www.youtube.com/watch?v=B1VsP2ER4OM>

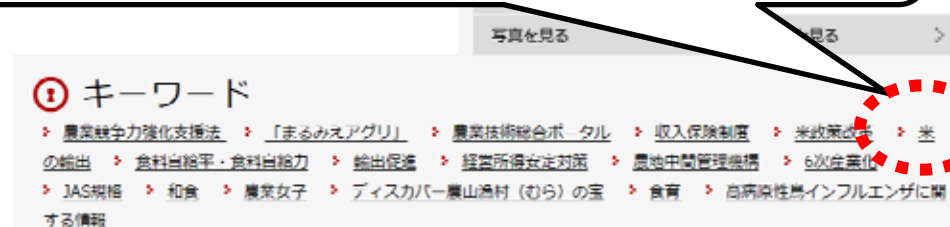
農林水産省HPから見る

トップページの「キーワード」にある「米の輸出」をクリック！

(ホーム > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の輸出について)



キーワードの「米の輸出」をクリックすると
「米の輸出について」のページに移動します！



URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html

お問合せ先：農林水産省政策統括官付農産企画課
(TEL：03-6738-8964)

業務用途への安定取引に向けた

米マッチングフェア
2018

中食・外食
事業者等の
皆様へ
まずは事前登録を!

来場無料

産地
大規模生産法人、
農協等

実需者
中食・外食
事業者等

〔開催時期〕 平成30年7月～平成31年2月

〔開催場所〕 東京(2回)・大阪(2回)
全国2か所



中食・外食事業者等の皆様へ

求めてるお米が手に入る

家庭内での米の消費が減る一方で、中食・外食等における米の需要は伸びており、このような業務用途の米は、今後も堅調な需要が見込まれます。

平成30年産米から行政による生産数量目標の配分がなくなる中で、今後一層、米産地の法人や農協等がユーザーである中食・外食事業者等と結びつき、当該事業者のニーズに応じた生産を行い、複数年契約や播種前契約を締結するなど安定した取引につなげていくことが重要です。

このような取引の拡大に向けて、業務用途への安定取引に取り組みたい米産地と中食・外食事業者等とのマッチングを行う「米マッチングフェア2018」を東京と大阪で開催します。

皆様、ぜひこのマッチングイベントに参加し、安定した米の販路を開拓しませんか？

主催 ● 全国農業再生推進機構・株式会社グレイン・エス・ピー
全国農業再生推進機構: (一財) 全国豆腐連合会/(一社) 全国農業会議所/(一社) 日本惣菜協会/(一社) 日本弁当サービス協会/協同組合 日本飼料工業会/(公社) 日本炊飯協会/(公社) 日本べんとう振興協会/(公社) 米穀安定供給確保支援機構/国産米使用推進団体協議会/全国稲作経営者会議/全国加工米需要者団体協議会/全国主食集荷協同組合連合会/全国農業協同組合中央会/全国農業協同組合連合会/全国米穀工業協同組合/日本米粉協会/日本豆腐協会/日本米穀小売商業組合連合会
後援 ● 農林水産省/(公社) 日本農業法人協会/(一社) 日本冷凍食品協会/(一社) 全国包装米販協会(県不同)
※本イベントは、農林水産省補助事業(平成30年度 米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち業務用米等の安定取引拡大支援事業)の下で全国農業再生推進機構・(株)グレイン・エス・ピーが行います。

お問い合わせ

米マッチングフェア2018事務局
株式会社グレイン・エス・ピー: 末田、小林

〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-5 湯島ビルD3F
Tel: 03-3816-0672 Fax: 03-3816-0708
E-mail: kome-matching@grainsp.co.jp



米マッチングフェア 2018

展示商談会・セミナー

のご案内

展示商談会・セミナーに参加希望の方は
事前登録をしてください

展示商談会・セミナー + 現地交流会

各3日間

【開催スケジュール】

大阪会場 平成30年7月4日(水)・5日(木)・6日(金)

リーガロイヤルNCB (大阪府大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル内)

東京会場 平成30年8月8日(水)・9日(木)・10日(金)

ホテルグランドパレス (東京都千代田区飯田橋1-1-1)

大阪会場 平成31年1月16日(水)・17日(木)・18日(金)

リーガロイヤルNCB (大阪府大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル内)

東京会場 平成31年2月6日(水)・7日(木)・8日(金)

ホテルグランドパレス (東京都千代田区飯田橋1-1-1)

1日目・2日目

[各会場とも]

受付 10:00

● **セミナー** 10:30 ~ 12:30

● **展示商談会** 1日目 13:00 ~ 17:00

2日目 10:00 ~ 16:00



セミナーイメージ

■ 展示商談会の内容

- 商談コーナー (個別商談のコーナーを用意)
- 出展紹介コーナー (出展者ご自慢のお米紹介、試食等)

■ 業務用途米情報コーナー

- 注目されている各品種の紹介

■ セミナー

- 安定契約の成功事例、実需者に求められる米とは等、豊富な経験を持つ方々の講演を予定

■ 試食コーナー

- 注目品種を使ったごはん料理を紹介

3日目

現地交流会 (1日目・2日目の開催地からバスで現地へ移動します)

■ 現地交流会

現地の圃場、ライスセンター等を見学し、現地の生産者や農協関係者等との意見交換を行い取引の商談を深めていきます。



現地交流会イメージ

展示商談会に来場される方へ

産地と実需者による事前契約、複数年契約の締結等、長期的な取引を目的に開催する展示商談会です。

実需者と流通業者によるベア参加、流通業者の代理参加も可能です。

本主旨をご理解いただける方々のご来場をお待ちしております。

ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。なお、ホームページにて随時、最新情報をアップしますので、そちらもご覧ください。